

民意を反映する選挙制度実現
比例定数削減反対！ **運動情報**

憲法会議 発行

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

【憲法しんぶん速報版】

2012年6月21日

第344号 Tel 03-3261-9007
本号1号 Fax 03-3261-5453

民・自・公3党の密室談合抗議声明を発表 憲法会議

憲法会議は6月21日、「『声明』改憲につながる議会制民主主義否定の民主・自民・公明の密室談合に抗議する」を発表しました。

先におこなわれた民主・自民・公明3党による談合は、国会を無視し、その「合意」を国会と公民に押し付ける議会制民主主義を踏みにじるやり方であり断じて許せないこと、そこで合意された内容が、憲法に背くものであることを明らかにし、法案を撤回することを求めています。またこの談合が改憲につながることを強く警戒しています。

全文は以下のとおりです。

【声明】

改憲につながる議会制民主主義否定の民主・自民・公明の密室談合に抗議する
2012年6月21日 憲法会議（憲法改悪阻止各界連絡会議）

民主党・自民党・公明党は、6月15日国会外の密室で「合意」した「社会保障・税一体改革に関する確認書」「税関係協議結果」「確認書」にもとづき、政府提出の「社会保障・税一体改革関連法案」の修正案と「社会保障制度改革推進基本法案」を共同提案、衆議院を直ちに通過させ、今国会を延長して成立させようとしています。

民主党の政権担当によって自・公の悪政から脱却するどころか、それ以上の悪政に踏み込むなかで国民の厳しい批判を受け、「財界中心、アメリカいいなり」の2大政党確立のたくらみが、破綻したにもかかわらず、国会無視、議会制民主主義を蹂躪する密室談合に「活路」をみだし、国民の意思とは無関係に悪法を強行しようというものです。これは国会が国権の最高機関とする日本国憲法の規定に真っ向から挑戦する到底許されない暴挙です。しかもその内容は、憲法が要請する税の応能負担原則や社会保障増進についての国の義務を明確にした第25条などを根本から破壊しようとするものです。

こうした3党による密室談合が、改憲の「大連立」の素地もしくは準備行為になっていく危険をはらんでいることを指摘せざるを得ません。

広範な国民の「改憲反対、憲法を暮らしの隅々に生かそう」という世論にこたえ、密室談合という国会無視を糾弾し、憲法に反する税と社会保障一体改革に断固反対し、関係諸法案の廃案を求めるものです。

以上